

自主防災組織の防災点検シート

大地震などの災害が発生した場合、行政の取組「公助」のみでは限界があります。地域の方々が自主的に協力して、初期消火、被災者の救出・救護、避難誘導、避難所の運営を行うことで、地域の被害を少なくすることができます。
このため、定期的に自主防災組織で地震に備えて防災の総点検を実施しましょう。

□チェックしましょう（実施：「○」未実施：「×」該当なし：「—」） 点検日 平成 年 月 日 点検者 _____

- ・この点検シートは、点検例を示したもので、地域の実情に合わせて適宜点検項目を追加・修正してください。未実施の項目は、できるだけ早く実施（改善）をしましょう。

地域の危険性の把握

- 地震ハザードマップで自分の地域の危険性を確認していますか
- 延焼の危険性の高い地区を把握していますか
- 山崩れ・崖崩れの危険地域を把握していますか
- 地域で過去にどのような災害が発生したかを把握していますか
- ()



地域での助け合い

- 緊急時における自主防災組織の役員等との連絡体制を整備していますか
- 地域の人々が日頃から交流するなど、顔の見える関係づくりを組織で支援していますか
- 災害時の安否確認の方法等について組織で話し合われていますか
- 危険な場所や避難経路、避難所などが記入された地域の防災マップを作成していますか
- 消火用の資機材や消火用の水は確保していますか
- 救出用の資機材（バール、ジャッキ等）は備蓄していますか
- 地域の事業所等への応援要請をどこにするのか決めていますか
- 避難所の運営や住民の方の役割について、組織で話し合われていますか

高齢者・障害者等の支援

- 高齢者や障害者など災害時に手助けが必要な方々が、近所に居住しているか把握していますか
- 災害時に手助けの必要な方々への支援方法について組織で話し合われていますか
- ()

防災訓練の実施

- 町内会や自主防災組織で次の訓練を定期的に実施していますか
- 避難訓練
- 初期消火訓練
- 救出・救助訓練
- 応急救護訓練
- 炊き出し訓練
- 災害図上訓練（DIG）

防災用資機材の備蓄の点検

地域によって必要な防災用資機材は異なりますので、地域の住民で話し合い、必要な資機材を整備しましょう。整備した資機材はリストを作成し定期的に点検をするとともに、地域の防災訓練等で実際に利用し使い方を確認しましょう。以下に整備する資機材を例示します。

初期消火用資機材

- 消火器
- 可搬消防ポンプ
- 活動服一式
- その他初期消火活動に必要な資機材（ ）

避難誘導用資機材

- ハンドマイク
- ヘルメット
- 携帯用無線機（トランシーバー）
- その他避難誘導に必要な資機材（ ）

救助・救護用資機材

- バール
- ジャッキ
- のこぎり
- チェーンソー
- 担架
- 救急医療セット
- その他救助・救護に必要な資機材（ ）

避難生活用資機材

- 毛布
- ランタン
- 簡易トイレ
- テント
- 発電機
- 炊飯装置
- 投光器
- ろ水器
- 炊飯装置
- その他避難生活に必要な資機材（ ）

その他必要なもの

-
-
-
-

■お問い合わせ先■

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
埼玉県危機管理防災部 危機管理課 震災予防・復興支援担当
電話：048-830-8141／FAX：048-830-8129